


## 1. 総論

## 【総括判断】「管内経済は、持ち直している」









項目	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	

（注）5年1月判断は、前回4年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

## （判断の要点）

個人消費は、行楽需要の高まりなどにより持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、新規求人数が増加しているなど持ち直している。

## 【各項目の判断】

項目	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	
生産活動	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	4年度は前年度を上回る見込み	4年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	4年度は減益見込み	4年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅は縮小	「上昇」超に転じる	
住宅建設	前年を上回る	前年を下回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

## 【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「持ち直している」

業態別にみると、ホームセンター販売は、インテリア用品などが低調であり、前年を下回っている。家電販売は、テレビなどが低調であり、前年を下回っている。ドラッグストア販売は、新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットなどが好調となっており、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、飲食料品が好調となっており、前年を上回っている。スーパー販売、百貨店販売は、外出用品などが好調となっており前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、登録台数が大きく減少した前年からの反動により、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- インテリア用品や工具といった耐久消費財は、巣ごもり特需の反動や商品値上げによる買い控えで不調となっている。(ホームセンター)
- 12月まで暖かい日が続いたことから、エアコンは前年を下回った。動画配信サービスの普及によりテレビ需要が減少し、テレビが低調となっている。(家電量販店)
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、抗原検査キット、解熱鎮痛剤、風邪薬、咳止め薬などが好調。またカラーマスクが好調となっている。(ドラッグストア)
- 全国旅行支援により観光地周辺の店舗の来客数が増加し、クーポン券の利用もあって、おにぎりやドリンクなどが好調となっている。(コンビニエンスストア)
- 外に出るニーズが高まり、お出かけ着、キャリーケース、スニーカーが好調。電気代の高騰を受け、家の中で温かく過ごせる肌着や婦人靴下なども好調となっている。(スーパー)
- スーツケースや外出用の靴やブーツが好調。宝飾品やラグジュアリーブランドが継続して好調となっている。インバウンドも売上を戻しつつある。(百貨店)
- 商品の多くが食料品などの生活必需品のため、値上げの影響による目立った買い控えはみられていない。(スーパー)
- 今期は、完成車メーカーの減産で登録台数が大きく減少した前年からの反動増となっている。受注は堅調であり、半導体不足による納車待ちの状態が続いている。(自動車販売)

### ■ 生産活動 「供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている」

汎用・生産用・業務用機械、鉄鋼は、自動車向けなどで需要が堅調であることから、増加している。電気機械は、半導体関連の需要が堅調であることから、高めの生産水準を維持している。一方、輸送機械は、堅調な生産を維持しているものの、半導体不足の影響が続いていることから、減少している。化学は、海外のインフラ向けなどで需要に弱い動きがみられることから、減少している。このように、生産活動は、全体では、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- スマートフォン、パソコン向けの需要は減少傾向にあるものの、自動車向け半導体製造装置の需要が堅調に推移していることから、生産量が増加している。(生産用機械)
- 自動車向けの需要が堅調なことからフル生産となっているほか、船舶向けの受注が回復傾向であり、生産が増加している。(鉄鋼)
- 半導体関連の需要が堅調であることから、生産量が増加している。(電気機械)
- 堅調な生産を維持しているものの、半導体不足の影響が依然として続いていることから、調達状況に応じた生産となっている。(輸送機械)
- 中国の市況が回復しておらず、海外インフラ向けで需要に弱い動きがみられることから、生産量は減少している。(化学)

### ■ 雇用情勢 「持ち直している」

雇用情勢は、製造業、非製造業ともに新規求人数が増加していることや、有効求人倍率が上昇していることなどから、持ち直している。

- 自動車関連の動きが活発であり、ライン増強に伴う人手不足。(電気機械)
- 新規出店の影響により、人手不足。(小売)
- 全国旅行支援に伴う観光需要の回復とともに、土産菓子製造企業や海産物加工食品製造企業からの求人が増えている。(公的機関)

- **設備投資** 「4年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年10-12月期
- 製造業では、「石油・石炭」などで減少するものの、「化学」、「情報通信機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
  - 非製造業では、「運輸・郵便」などで減少するものの、「小売」、「金融・保険」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 前年からの持ち越し案件や脱炭素化に向けた設備投資を実施。(化学)
- プロセスセンター等の物流拠点の整備を実施。(小売)

- **企業収益** 「4年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年10-12月期
- 製造業では、「生産用機械」、「非鉄金属」などで増益となるものの、「化学」、「木材・木製品」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
  - 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「小売」、「建設」などで減益となるものの、「医療・教育」、「運輸・郵便」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

- **企業の景況感** 「『上昇』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年10-12月期
- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。

- **住宅建設** 「前年を下回る」
- 新設住宅着工戸数でみると、貸家、給与住宅が増加しているものの、持家、分譲住宅が減少していることから、前年を下回っている。

- **輸出** 「前年を上回る」
- 輸出(円ベース)は、化学製品が減少しているものの、自動車、石油製品などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東欧・ロシア等で減少しているものの、北米、アジアなどで増加している。
- なお、輸入(円ベース)は、石炭、原油及び粗油などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、大洋州などで増加している。

### 3. 各県の総括判断

	前回(4年10月判断)	今回(5年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
広島県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、行楽需要の高まりなどにより持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、新規求人数が増加しているなど持ち直している。
鳥取県	持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡	個人消費、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。
島根県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は持ち直している。
岡山県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
山口県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、物価上昇等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直している。